

問題1 出題の意図

高校の授業料無償化の問題は、受験生も考えやすいテーマであるが、多くの論点を含んでいる。受験生や保護者の受験校の選択によって、地域や社会に大きな影響を与えることを認識してほしいと考えて出題した。自由な競争に任せると、どのような不都合が起こるのかを考え、その課題をどのようなアイデアや仕組みによって解決したらよいかを論理的に考えてほしい。

問1では、単純な要約ではなく、大意を掴めるかどうかを見ている。問題文がルポルタージュであるため、社説などの結論がある文章ではない。したがって文章を順番に要約するのではなく、再構成し書いてあることを簡単に説明できるかどうかを見る。そのため文字数を必要最小限に限定している。問2は、本文の記載内容を正確に読み取れるかどうかを問うている。問3では、問2で列挙した悪かった点を解決するための高校や自治体の戦略について考えることを求めている。本文中に記述のある熊本県の例以外の戦略を考えさせる。単にアイデアを列挙させるのではなく、課題を解決するための論理的な思考を求めている。

問題2 出題の意図

問題文は、国際的な NGO であるプロジェクト・シンジケートが発刊した記事から引用しています。AI は私たちの生活の一部となっており、生成 AI である ChatGPT の 1 週間あたりの利用者数は 7 億人に上っています。記事の筆者は、こうした AI の普及に対し、より強力な規制が必要だと述べています。内容は高校生にとって親しみやすいものと思われ、難解な単語や表現は含まれていません。ただし、ややレベルが高いと考えられる単語については、注を付しています。

問 1 は、英文を和訳し要約する能力を測る問題です。問題文中の「倫理的な観点から」という指示から、要約を求められている箇所が第 1 パラグラフにあると気づくことは容易でしょう。解答においては、単に該当箇所を日本語に訳すのみならず、それを自然な日本語の文章で要約し、適切に表現する力が求められます。

問 2 は、AI を規制することの是非について、自身の立場を自由に記述する問題です。評価においては、①AI の規制に賛成か反対かの立場が明確に述べられていること、②規制に賛成（反対）と考える根拠およびその理由が論理的かつ具体的に記載できていること、の 2 点がポイントとなります。平素から社会現象に関心を持ち、それを鵜呑みにせず自分なりの考えを持つ習慣を身につけているかが問われます。